

議会運営委員会は、1月23、24の両日、東京方面での視察研修を行なった。

1日目は東京都西多摩郡瑞穂町の議会を訪問した。

瑞穂町は人口約3万4千人、面積16・8平方キロメートル、議員定数は18名で、最大の特徴は町の一部が米軍横田基地であり、このことが大きな要因で財政的に豊かな町である。

瑞穂町議会は議会の活性化をめざし、「議会活性化委員会」を立ち上げ、議会運営の一つ、ひとつを見直し、また文書化することを通じ、運営の明確化を図っている。

また議会全員協議会を原則公開しており、その点について特に質問や意見がでた。全員協議会の性格から、公開の是非について意見の分かれるところである。

2日目は、シチズングループの親会社であるシチズン時計株式会社をの表敬訪問

と研修をした。

当町にゆかりのある役員との話し合いができ、有意義な時間となった。

市町村が自立していく上で、工場誘致や工場立地などの産業振興が重要な課題の中、今後は企業の動向や要望を知る上でも企業への

表敬訪問などをし、町の積極的な対応が必要であると感じた。

委員長 中山 美博



シチズン時計役員室



議会だより編集委員会は1月16日 第23回町村議会広報コンクールで奨励賞を受賞していた身延町を視察した。

身延町は、平成16年9月13日に「下部町」「中富町」「身延町」の三町合併により誕生した。面積304・34kmで人口1万6千929人。議員定数は昨年10月改選で20名。

編集委員会は定例会終了後開催され、原稿は主に編集委員が作成しているが、議会日誌や審議日程は事務局が作成している。発行は当町は翌月25日であるが、身延町は遅く翌々月の公報配布日となっていた。

紙面は2色刷でページ数も20ページと多い。表紙の写真は、フォトリーダー設置要綱を定め、住民6名を編集委員が推選し、委嘱された方からの提供をうけ、掲載されていた。

広報モニターも実施され

通信で感想を聴集していた。掲載の主なもの、一般質問一人1ページを基本に、又追跡記事として、答弁に対するその後の経過等も掲載している。町民の皆さんに愛される紙面にとさまざ

まな努力をされていることがうかがえた。読んでいただけの紙面に努力をおしまないことを強く感じ、今後の編集に生かしていきたい。

委員長 武井 武

